

03 巻頭言

老年学研究の最近のトレンド

山本 則子 (やまもと・のりこ)

東京大学大学院医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野 教授

東京大学医学部保健学科卒。東京白十字病院、虎の門病院で看護師として病院勤務の後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了。カリフォルニア大学ロサンゼルス校 Assistant Researcher。千葉大学助教授、東京医科歯科大学教授を経て、2012年より現職。2018年よりダイヤ高齢社会研究財団理事。研究テーマは長期ケアの質保証、ケアの実践知を共有するための事例研究方法の開発。

04 Dia Report

通いの場の「自主運営」と「主体的なかかわり」を支える

澤岡 詩野 (さわおか・しの)

—横浜市「元気づくりステーション」事業から—

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 主任研究員

東京工業大学大学院卒、工学博士。東京理科大学助手を経て、2007年より現職。研究テーマは高齢期の社会関係。業績として「都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流」(共著『老年社会科学』)、「都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ」(単著『老年社会科学』)など多数。

08 財団研究紹介

在宅での看取りとそれに関わる専門職の役割

二宮 彩子 (にのみや・あやこ)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 研究員

東京医科歯科大学大学院保健衛生学専攻(地域看護学)修了。博士(看護学)。東京医科歯科大学医学部附属病院看護師、訪問看護ステーションまごころ(江戸川区)訪問看護師、東京医科歯科大学助教、文京学院大学准教授等を経て2019年より現職。専門は高齢者の生理反応、地域看護学。財団では「介護予防系事業のエビデンスを蓄積する共同研究」「介護QIによるケアサービスの質の評価研究」に関わっている。

10 Dia Column

健康増進は、「国」「個人」「企業」が三位一体で取組む時代へ!

大坪 英二郎 (おおつぼ・えいじろう)

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部長

明治大学大学院でMBA取得後、立教大学大学院博士後期課程修了。博士(経営管理学)。1983年明治生命保険(当時)入社、同グループの研究所を経て、2017年当財団企画調査部次長。本年1月から現職。専門は、保険学、生命保険論。財団では主に「中高年の働き方」、「仕事と介護の両立支援」、「資産寿命・親の財産管理」などの調査・研究を担当。2019年度から立教大学大学院兼任講師。

12 Dia Information

表紙写真について一言 「霞ヶ浦の帆曳船」

霞ヶ浦の帆曳船は、漁師の折本良平氏により考案され、明治から昭和の後半まで漁業に用いられていました。昭和40年代前半に動力船によるトロール漁に移行し、姿を消しましたが、昭和46年に観光船として復活しました。霞ヶ浦の湖面を渡る風を受け、真っ白な帆をいっぱい張って進む帆曳船。この帆曳船が姿をあらわすと、霞ヶ浦に夏が訪れます。

発行者

公益財団法人 **ダイヤ高齢社会研究財団**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑 3F

TEL:03-5919-1631 FAX:03-5919-1641

E-mail:info@dia.or.jp http://www.dia.or.jp

編集人:佐藤博志 デザイン・印刷:橋本確文堂(三菱製紙ホワイトニューVマット) 発行:2019.7.25 No.98